

「2022年7月15日および8月3日からの大雨に関する調査速報会」を開催しました (2022/8/9)

テーマ：大雨、河川氾濫、土砂災害、歴史資料保全、災害医療、災害対応
場所：オンライン

2022年7月15日からの大雨により、宮城県を中心として河川氾濫や土砂災害が発生し、その後も日本各地で豪雨による被害が発生しました。また、8月3日に発生した大雨では、山形県および新潟県で甚大な被害が生じ、その後、北陸地方などでも被害が発生しました。

この状況を受けて、東北大学災害科学国際研究所は、8月9日（火）14:00～15:00、「2022年7月15日および8月3日からの大雨に関する調査速報会」をオンライン形式で開催しました。同報告会では、今村文彦所長挨拶に続き、橋本雅和助教（災害ジオインフォマティクス研究分野）、森口周二准教授（計算安全工学研究分野）、佐藤大介准教授（歴史文化遺産保全学分野）、佐々木宏之准教授（災害医療国際協力学分野）らが、宮城県・山形県・新潟県の被害や対応状況に関する調査・分析結果を、河川氾濫および土砂災害、歴史資料保全、病院BCP等の観点から発表しました。また、別途、メディア関係者からの質問に答える時間を設けました。最後に今村所長は、改めて今回の速報会の意義、今後注意すべきポイント等を述べました。速報会の運営は、広報室の中鉢奈津子特任准教授と鈴木通江職員が支援しました。

当日は約90名の、主に防災・メディア関係者の参加があり、今後も各地で大雨による災害が引き続き警戒される状況を受けて、多くの質問が寄せられました。

<プログラム>

1. 開会挨拶
今村文彦（所長）
2. 7月宮城県豪雨災害について
橋本雅和（災害ジオインフォマティクス研究分野）
3. 8月山形・新潟県豪雨災害について（山形県飯豊町・川西町）
森口周二（計算安全工学研究分野）
4. 2022年夏・奥羽越での集中豪雨と歴史資料レスキュー
佐藤大介（歴史文化遺産保全学分野）
5. 被災した病院概要及び R3～4 年度厚労科研について
佐々木宏之（災害医療国際協力学分野） ※森口周二 代理発表
6. 質疑応答

司会：中鉢奈津子（広報室）



橋本雅和助教



森口周二准教授



佐藤大介准教授



今村文彦所長